

EL1-01

時間軸を意識した全体マネジメント

小林 和也

日本製鉄株式会社 九州製鉄所 安全環境防災部 安全健康室

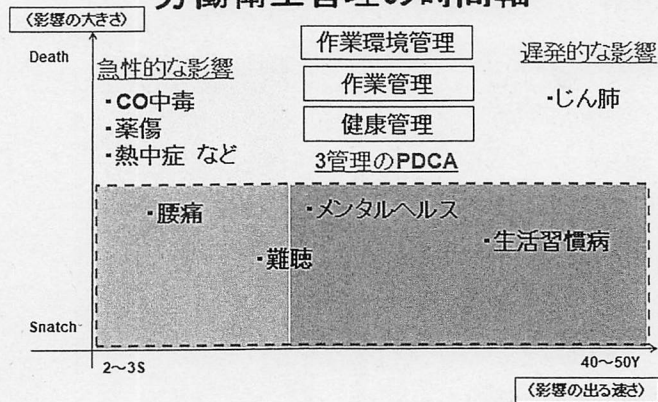
時間軸を意識した労働衛生管理ならびに関係者間の円滑なコーディネイトは、社員の安全と健康を守り災害や身体への影響を未然防止していく上で大変有効な手段となる。

例えば、化学物質のリスクアセスメント情報からは、作業現場にある危険源がいつどのようなタイミングで作業者に身体影響を及ぼす可能性があるかについて「現在のリスク」を把握することができる。一方、特定化学設備・特定粉じん発生源などに係る設備等設置届に記載する情報からは、予め危険源を特定し対策を積み上げる視点で計画作成をすることから「未来のリスク」に対しての未然防止策を想定することができる。さらに、作業環境測定では、現場での目視情報、聴覚情報や分析結果から現状の状態に加え未来の環境変化を予測することができる。同様に健康診断やストレスチェック情報についても、集団の経年変化を過去に遡って観察していくことで未来変化の予測が可能である。

このように、労働衛生に関わる実務の時間軸に沿ったリスクを拾い上げ位置づけを明確にしながらPDCAサイクルを回すマネジメントを実践することで、労働衛生実務担当者本人だけではなく全て関係者が課題解決に向けた活動を自発的に推進やすくなる。さらに、関係者一人ひとりが課題意識を共有化しながら安全衛生課題の達成を通じていくことで、事業場全体の安全衛生水準がスパイラル状に向上することも期待できる。

事業場・組織が労働衛生実務担当者に期待することは、具体的な課題解決である。働く人の安全と健康を守り災害や身体への影響を未然防止していくためには、時間軸を意識した全体マネジメントが有効な手段である。

労働衛生管理の時間軸



略歴

- 2004年 北里大学医療衛生学部衛生技術学科 卒業
- 2006年 北里大学大学院医療系研究科環境医科学群 修士課程修了
- 2014年 東京大学大学院医療系研究科精神保健学分野職場のメンタルヘルス専門家育成プログラム (TOMH3期) 基礎コース修了
- 2006年に国内大手電気機器メーカー人事部に在籍し人事全般業務を担当後、国内大手保険グループ会社でのヘルスケアコンサルティング・営業の経験を経て2012年より現職会社に入社。以後、本社での健康管理企画業務や海外 (ASEAN) 地域での業務研修を経て、現職製鉄所での労働衛生管理業務 (専任衛生工学衛生管理者) に従事。